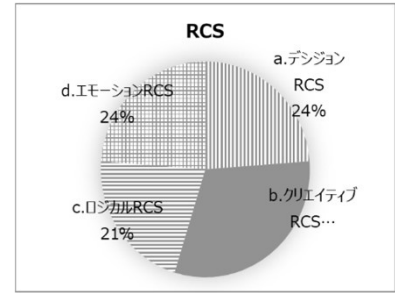
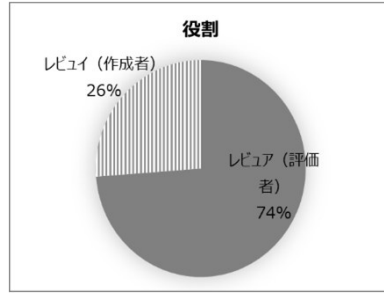
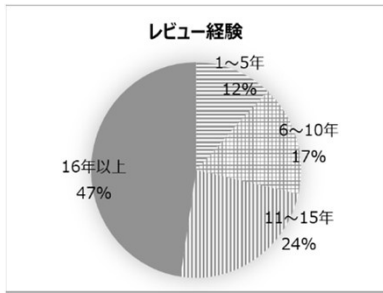


付録1 アンケート回答者の属性



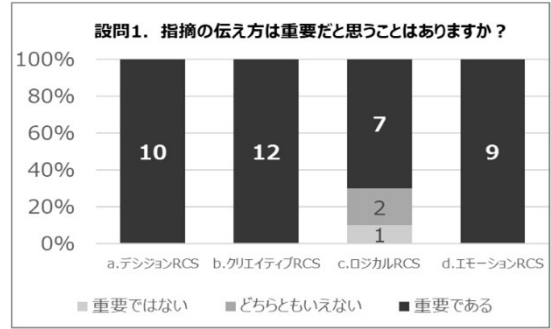
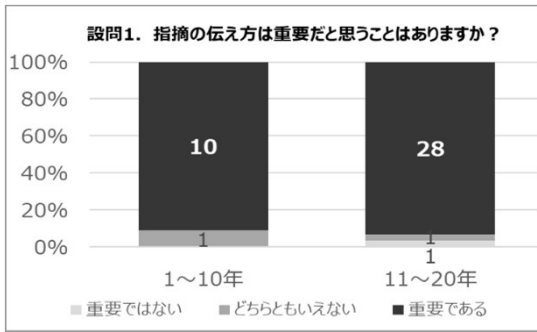
付録2 アンケート結果

■ 指摘の伝え方について			伝え方を重視		中立	伝え方を軽視	
No.	設問	回答数	1.よくある	2.どちらかといえばある	3.どちらともいえない	4.どちらかといえばない	5.まったくない
設問1.	指摘の伝え方は重要だと思うことはありますか？	41	27	11	2	1	0
設問2.	指摘を伝える際に何か工夫していることや注意していることはありますか？	41	11	25	4	1	0
設問3.	指摘を伝える相手によって指摘の伝え方を変えることはありますか？	41	11	19	3	6	2

■ RCS法の有効性について			どちらかといえば肯定的		中立	どちらかといえば否定的	
No.	設問	回答数	1.よくある	2.どちらかといえばある	3.どちらともいえない	4.どちらかといえばない	5.まったくない
設問1.	RCSの診断結果は、あなたのソフトウェアレビューにおけるスタイルを表していますか？	42	6	19	14	3	0
設問2.	RCSのレビュー戦略は、現場のソフトウェア開発レビューに有効だと思いますか？	42	8	25	8	1	0

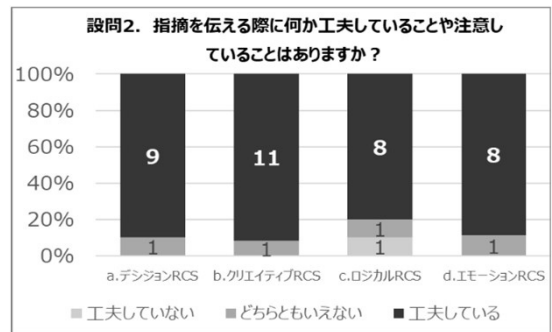
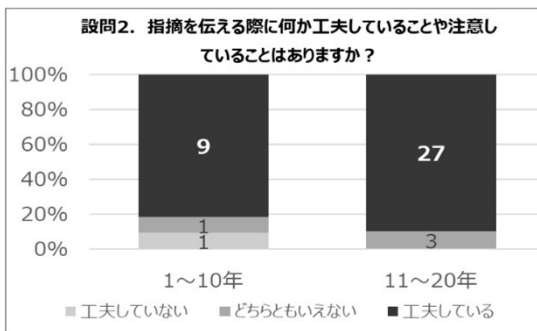
付録3 指摘の伝え方についてのアンケート結果

設問1. 指摘の伝え方は重要だと思うことはありますか？



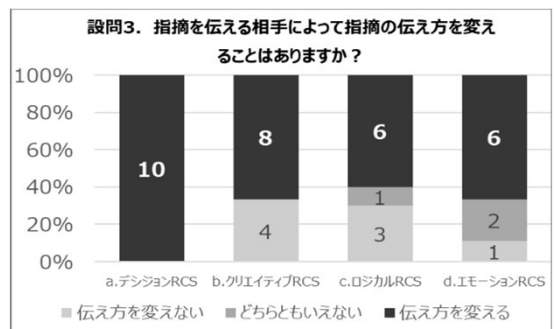
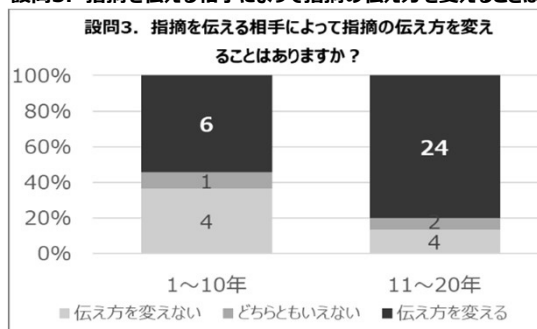
設問	回答	回答コメント
指摘の伝え方が重要だと思う理由	重要	<p>受け手が納得しないと満足いく修正がおこなわれない。</p> <p>指摘により相手が次に行動することが重要である。</p> <p>修正内容が指摘と異なり、再度修正となる可能性がある。</p> <p>伝え方により誤った判断をする場合がある。</p> <p>再レビューした際に指摘した箇所が修正されず、再々レビューを実施した。</p> <p>指摘した通りの修正・対応が期待できない。</p> <p>認識の齟齬が生じて誤った対応となる。</p> <p>相手の理解度によって、同じ内容のフレーズでも伝え方が異なることがよくあるため。</p> <p>「なぜ指摘するのか」が伝わらないと指摘事項を修正するのみで同じ誤りを繰り返す。</p> <p>話す相手に合わせて説明の仕方を変えないと、相手の理解度に差が生じる。</p> <p>相手、与えられた時間によって伝え方が違ってくる。</p>

設問2. 指摘を伝える際に工夫や注意していることはありますか？



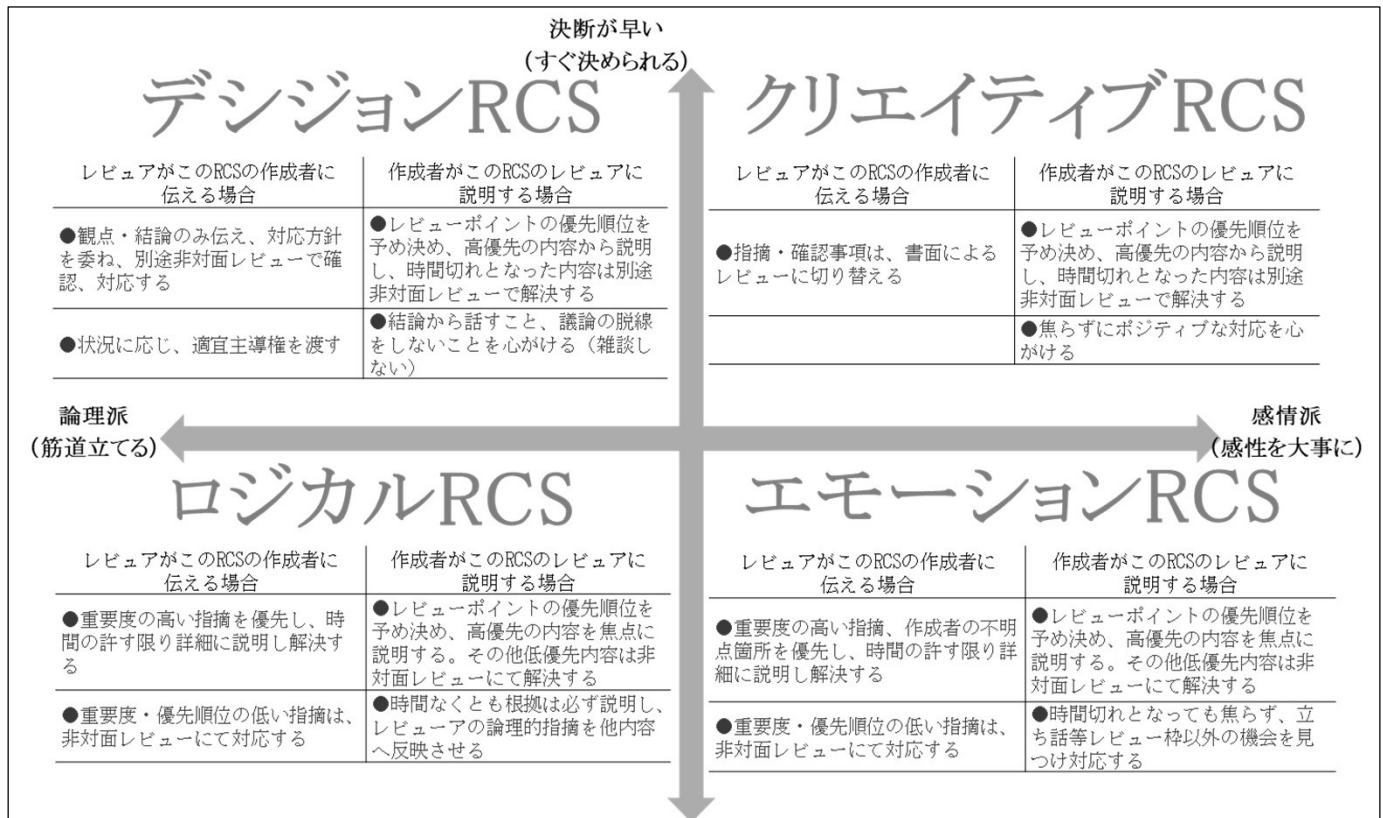
設問	回答	指摘を伝える際に工夫や注意していること具体例
指摘を伝える際に工夫や注意していることはありますか	工夫している	<p>相手のタイプによってストレートに指摘したり、回りくどく指摘したりする。</p> <p>誤っている内容と、本来はどうあるべきかを伝えるようにしている。</p> <p>できるだけ具体的な指摘をしている、指摘の背景を伝えている。</p> <p>レビューの性格やスキルセットに応じて口調やトーンを変えている。</p> <p>レビューの種類（重要度）や緊急度によって伝え方を変えている。</p> <p>誤解を招く可能性のある指摘については、NGの理由を合わせて伝えている。</p> <p>レビューのスキルを鑑み丁寧に指摘をするか、指摘箇所のみ伝えるか決めていく。</p> <p>過去の行動パターンに応じて、最終形式を伝えたり、考えに至るプロセスを伝えたりする。</p> <p>どうしてこのようにしたのかを確認してから指摘を伝えるように気を付けています。</p> <p>修正内容だけでなく、どういう視点でどう考える必要があったかを伝える。</p> <p>時間がない場合は、指摘は細かく、時間的に余裕がある場合は、少し考えてもらうようにする。</p> <p>絵を描く、インプット・エディット・アウトプットをわかるようにする。</p>

設問3. 指摘を伝える相手によって指摘の伝え方を変えることはありますか？

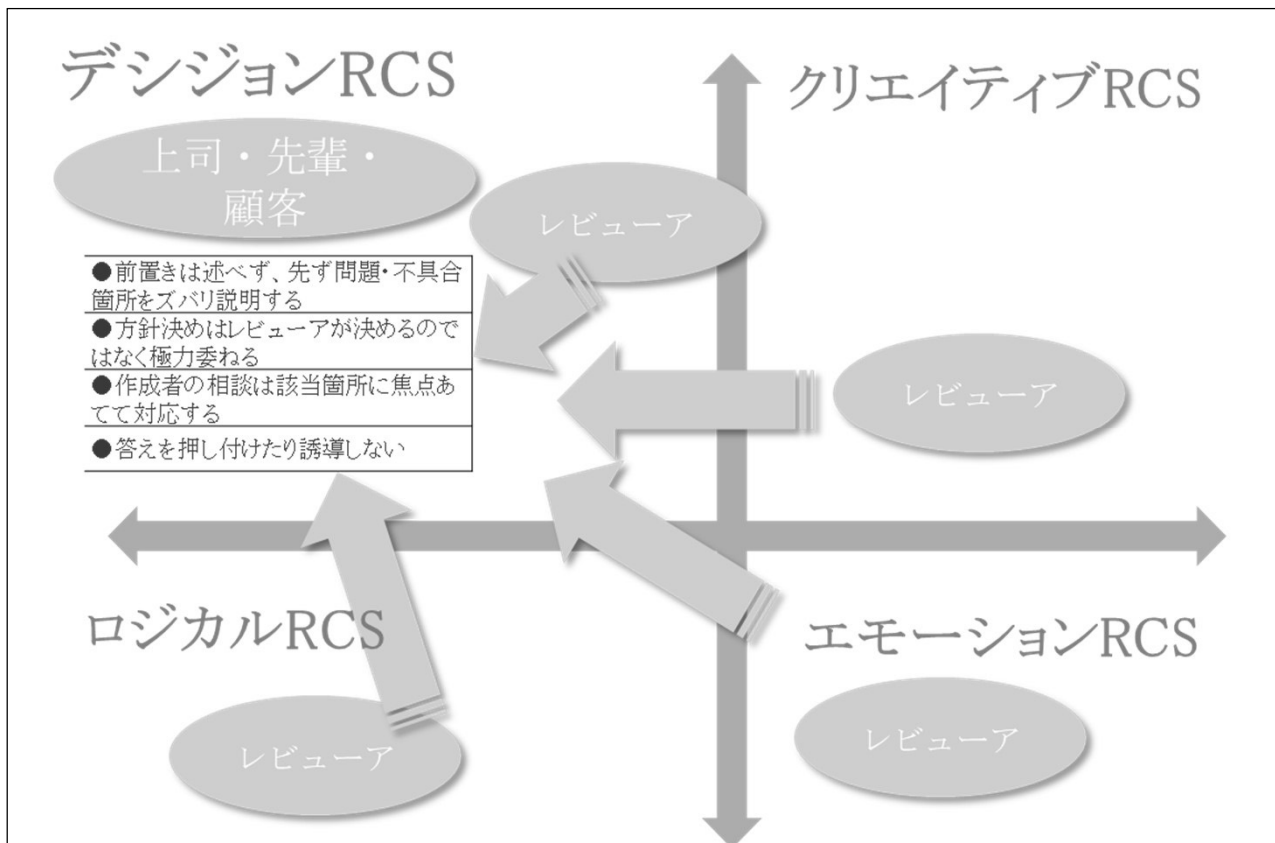


設問	回答	相手によって指摘の伝え方を変える具体例
指摘を伝える相手によって指摘の伝え方を変えることはありますか？	伝え方を変える	相手のタイプによってストレートに指摘したり、回りくどく指摘したりする。
		相手によって指摘の粒度を変えている。
		新人クラス、ベテランによって伝え方を変えるのと同じレベルで対応している。
		指摘方針は変えないが、言い回しや伝わりやすさについて変えている。
		相手によって変えることは基本しないが、レビューの種類によって変える場合がある。
		初回レビューの相手やレビューアースキルセットによっては変える、強弱をつけて伝える。
		書面・対面・書面と対面など、伝え方を変えるようにしている。
		相手の経験年数や考え方が上流工程よりか開発工程寄りかで変える。
		新人などの知識が浅い人には教育に重きを置いて、背景や覚えておいて欲しいことを伝える。
	どちらともいえない	指摘が軽微でも影響の大小に応じて、口頭で補足する。
伝え方を変えない	特に意識していない。 基本的にはスキルによって変えるようなことはしない。	

付録4 逼迫時の施策

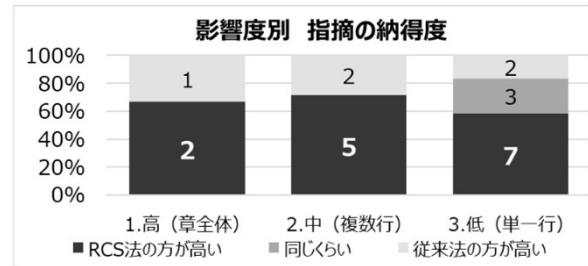
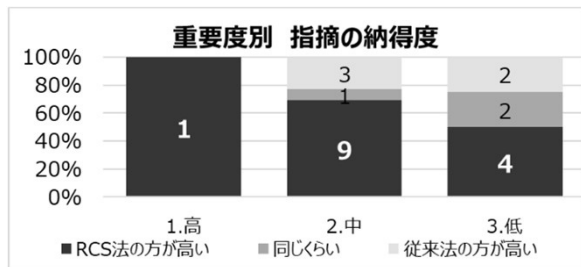
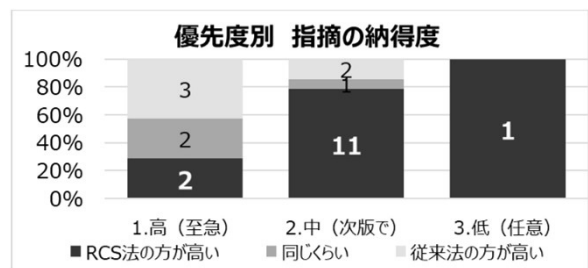
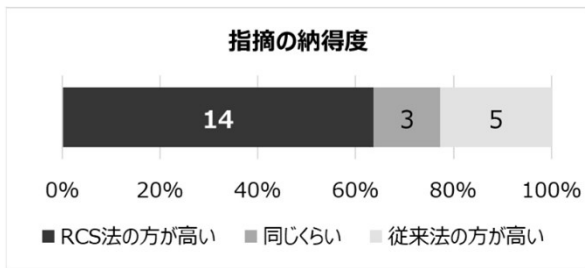


付録5 上司や先輩、顧客が作成者の場合の戦略



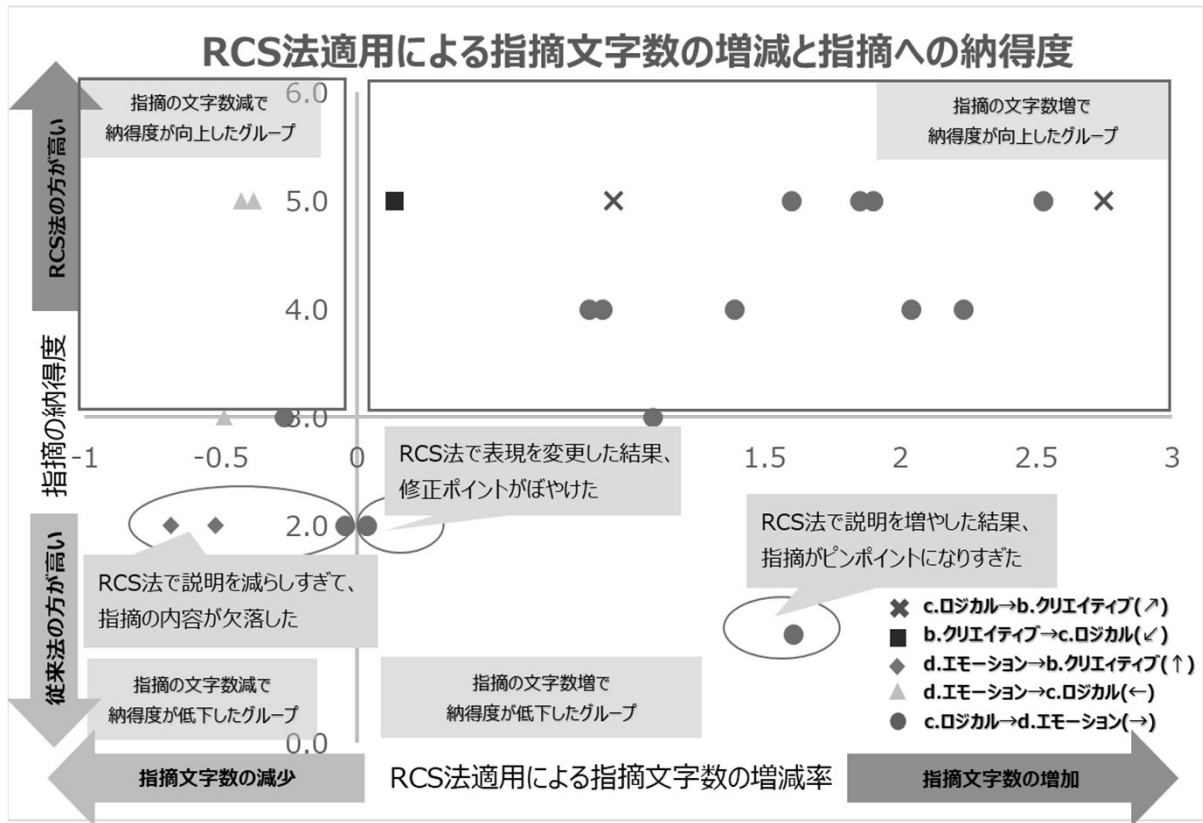
付録6 RCS法の実験結果

RCS法を意識した指摘と、意識しない指摘（従来法）どちらが納得度が高いですか？



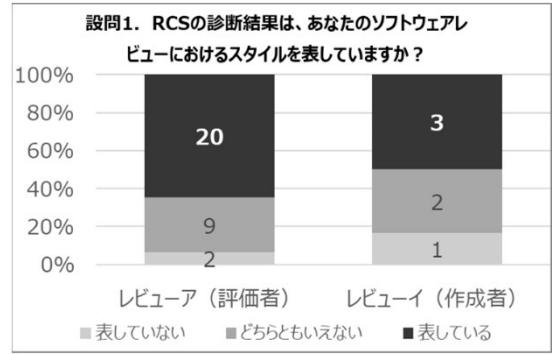
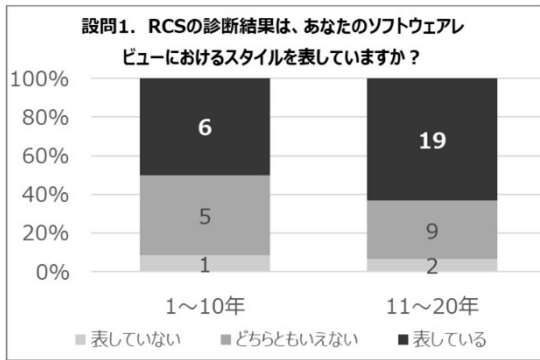
設問	指摘の納得度	その理由	指摘の優先度
RCS法を意識した指摘と、意識しない指摘（従来法） どちらが納得度が高いですか？	従来法の方が高い	従来法の方が、具体的で修正イメージが湧きやすい。	1.高
		RCS法の指摘がピンポイントすぎる。類似見直しが不十分になる可能性がある。	2.中
		RCS法の指摘が間接的で、修正要否の見極めが困難。	1.高
	同じくらい	RCS法、従来法どちらの指摘も表現が違っただけで同じ趣旨だと解釈した。	2.中
		RCS法の方が高い	従来法の指摘が簡潔すぎて、追加で質問しないと意図が分からない。
	RCS法の方が高い	RCS法の方が、指摘の理由が明確で対応を検討しやすい。共感できる。	2.中
		RCS法の方が、具体的で対応しやすい。	3.低
		RCS法の方が、修正要否の判断を作成者に委ねてくれていると感じる。	2.中
		RCS法の方が、客観的に伝えようとしてくれている。	2.中
		Yes, Noで回答できる指摘や質問は、簡潔な方がよい。	1.高
		対応は、いくつかの選択肢が考えられるので、指摘は具体的すぎない方がよい。	2.中
		2.中	

付録7 RCS法適用に伴う「指摘文字数の増減」と「指摘の納得度」の相関関係



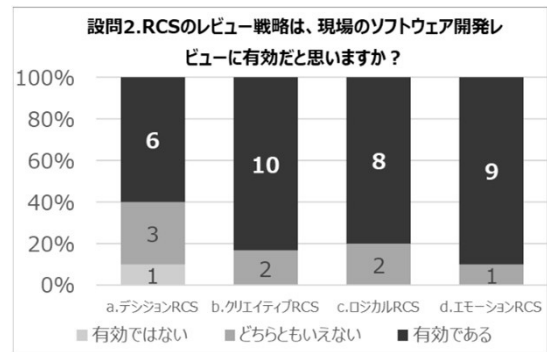
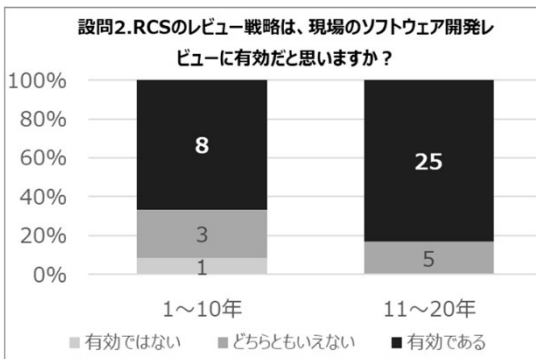
付録8 RCS法の有効性についてのアンケート結果

設問1. RCSの診断結果はあなたのソフトウェアレビューにおけるスタイルを表していますか？



設問	回答	RCSの診断結果が、レビューにおけるスタイルを表しているとする理由
RCSの診断結果はあなたのソフトウェアレビューにおけるスタイルを表していますか？	表している	概ね当てはまる（身に覚えがある）。 過去の経験上、レビューア、レビューイ共にこの4つに当てはまっていると思う。 その状況によって変わると思うが、基本的には表している。 全てがスタイルに適合しているかは疑問であるが、言われてみれば確かにと思う場合もある。 判定されたスタイルに概ね合っていると思う。 4パターンに分けるため仕方がないと思うのですが、クリエイティブとデジションの間だと思いました。 特徴・注意点ともに自分に合っていると感じるため。
	どちらともいえない	その人の今までの経験や立場によりスタイルに影響するものと思う。 傾向としてはあっていますが、ロジカルRCSの特徴も若干あるかと思ったので、どちらともいえない。 レビューする内容によって、レビューコミュニケーションスタイルの領域も変わる気がします。 自分ではよくわからない。

設問2. RCSのレビュー戦略は、現場のソフトウェア開発レビューに有効だとおもいますか？



設問	回答	RCSのレビュー戦略が現場のレビューに有効だと考える理由
RCSのレビュー戦略は、現場のソフトウェア開発レビューに有効だとおもいますか？	有効である	スタイルに合わせた伝え方、受け止め方を意識できる。 相手によって予め伝え方の注意点が分かれば、「良い」レビューが実施できる。 戦略として「事前」に対策できるものと思われる。 社内レビューやPJ内レビューのみならず顧客との打ち合わせにも有効と思う。 レビューに限らず、人間関係の向上にも役立つと思う。 人により苦手、得意なタイプがあるので、事前に対策することで成功に導けると判断。 はい、相手の特徴を捉えてよりよく伝える・受け止めることで、すれ違いは減る。 相手に合わせてより効果的に受け止めてもらえる方法を考えるという点では参考になる。 個人の特性を知っておけば、参考になるかと思う。 相手の特徴を考慮したうえでコミュニケーションをとることで無駄なやりとりが減る。
	どちらともいえない	レビューアと作成者の思考パターンとの組み合わせも必要。

設問3. RCSについて質問や要望、アドバイスをお願いします

設問	回答	RCSについて質問や要望、アドバイス
RCSについて質問や要望、アドバイスをお願いします	応用	レビューで複数のスタイルのメンバーを組み合わせると品質向上に寄与するかもしれない。チームビルディングにも有効。
	改善	自己診断と他社診断の組み合わせで診断すると、より納得度が高まる。 成果物への理解度、対象業務の得意不得意もスタイルに大きく影響する。 戦略について言葉のニュアンスが伝わりにくいところがある。